

のり海況速報 第1報 (22-1)

平成22年9月 24日発行
千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所
千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 (9/22 : 内湾, 9/21 : 内房北部)
関東・東海海況速報 (9/30)

9月21, 22日に実施した調査結果をとりまとめ、今年度も「のり海況速報」として随時提供してまいりますので、ご活用願います。

なお、現在発生している台風12号の進路によって、海況が大きく変わります。

【東京内湾の動き】

本県側の表層水温・塩分(図1)は26℃台後半～27℃台・ほぼ25～30台となっています。

水温は依然高水温で、昨年より5℃前後高くなっています。塩分は14～16日にかけての降雨(横浜: 75.5mm)によってさらに低塩分化しています。

縦断面の水温・塩分(図2)の鉛直分布をみると、水温・塩分とも表層と底層の差が大きく、塩分は内湾中央部の水深10m付近にやや強い躍層が形成されています。

また、北部では沖合底層水(無酸素水)の沿岸への湧昇傾向がみられていますので、平成22年9月22日発行の貧酸素水塊速報でお知らせしたように今後の動きに注視が必要です。

赤潮は内湾中央から北部海域で発生し、北部海域ではpH8.6～8.7・透明度1m台を示し、水色も紅褐色を呈する程の濃い赤潮状態でした。

優占種はケイ藻のラウデリア (*Lauderia annulata*)、スケルトネマ (*Skeletonema costatum*)で、その他にキートケロス (*Cheatocherus pseudocurvisetum*) および渦鞭毛藻のプロロセントルム (*Prorocentrum minimum*) などがみられていました。

表層の栄養塩濃度(表1)は溶存無機態窒素・リン酸態リンとも非常に少なくなっていますが、今後の気象(台風12号通過など)によって栄養塩が好転することを期待したいところです。

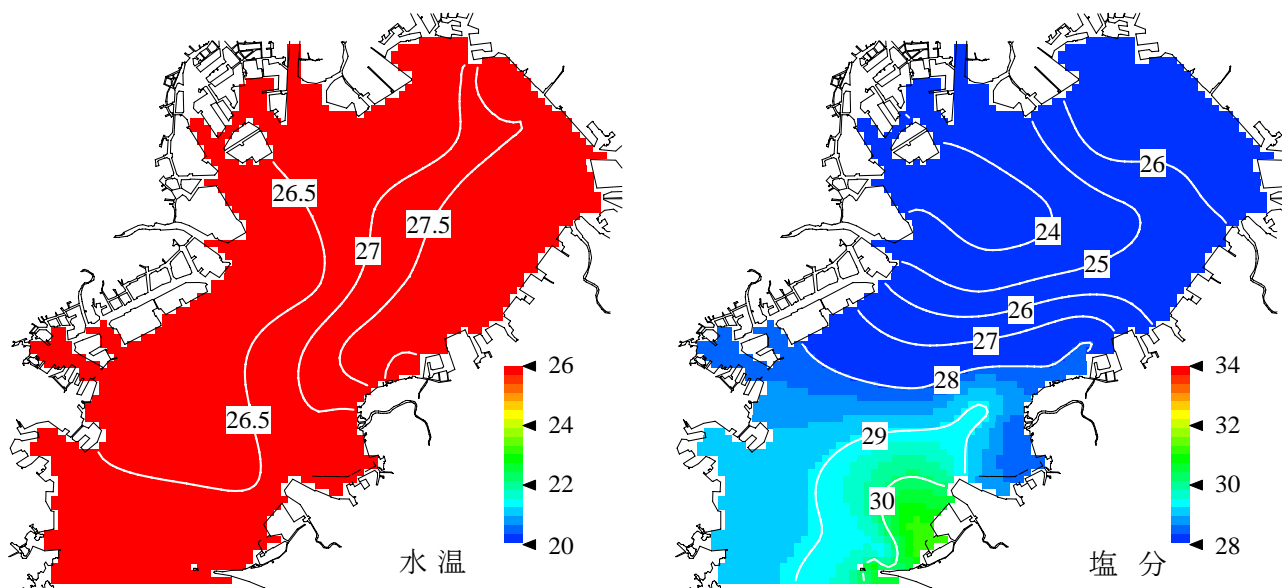


図1 表層の水温・塩分分布 (内湾 : 平成22年 9月22日)

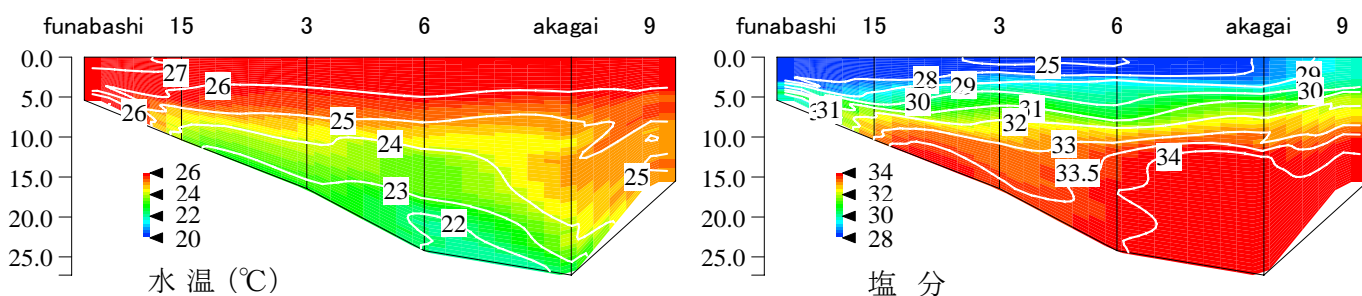


図2 縦断面の水温、塩分の鉛直分布 (内湾 : 平成22年 9月22日)

【 湾口部の動き 】

内房北部海域の表層水温・塩分(図3)はほぼ26℃台・31~32台前半となっています。水温は内湾と同様高水温状態が続いています。

縦断面の水温・塩分(図4)の鉛直分布をみると、表層から水深20m付近までの水温は25~26℃台と高水温となっています。また、浦賀水道航路入口付近の水深10m以深には塩分34以上の水塊がみられています。

赤潮は発生していませんが、ノリ漁場周辺ではpHが高く、水色も黄緑色を呈していました。

プランクトンも比較的多く、ケイ藻のキートケロス(*Cheatoceros pseudocurvisetum*)、シュードニッチア(*Pseudo-nitzschia* sp.)が優占していました。

表層の栄養塩濃度(表1)は内湾と同様、溶存無機態窒素・リン酸態リンとも非常に少なくなっていますが、今後の気象によって栄養塩が回復することを期待したいところです。

黒潮流軸そのものはほぼB型基調で推移しており、24日現在(図5)御蔵島・三宅島付近にある小冷水塊(24℃台)を迂回するパターンで、房総沖を接近しながら東方向に流れています。

現状では湾口部への沖合水の波及は少ない模様です。

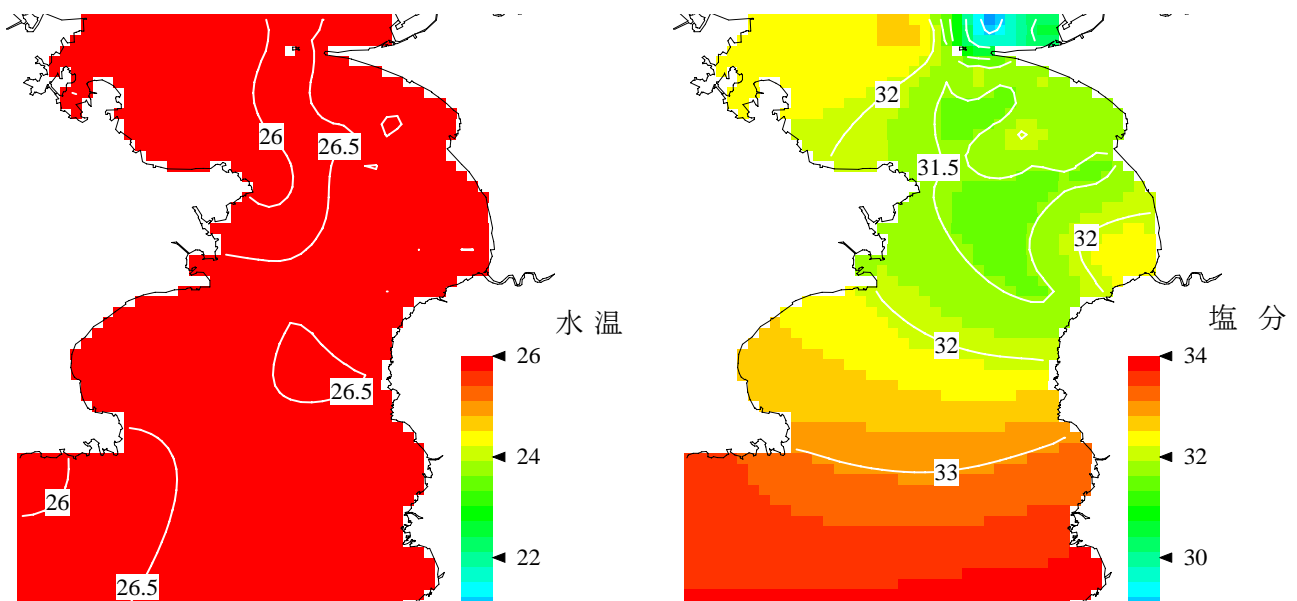


図3 表層の水温・塩分分布 (内房北部海域：平成22年 9月21日)

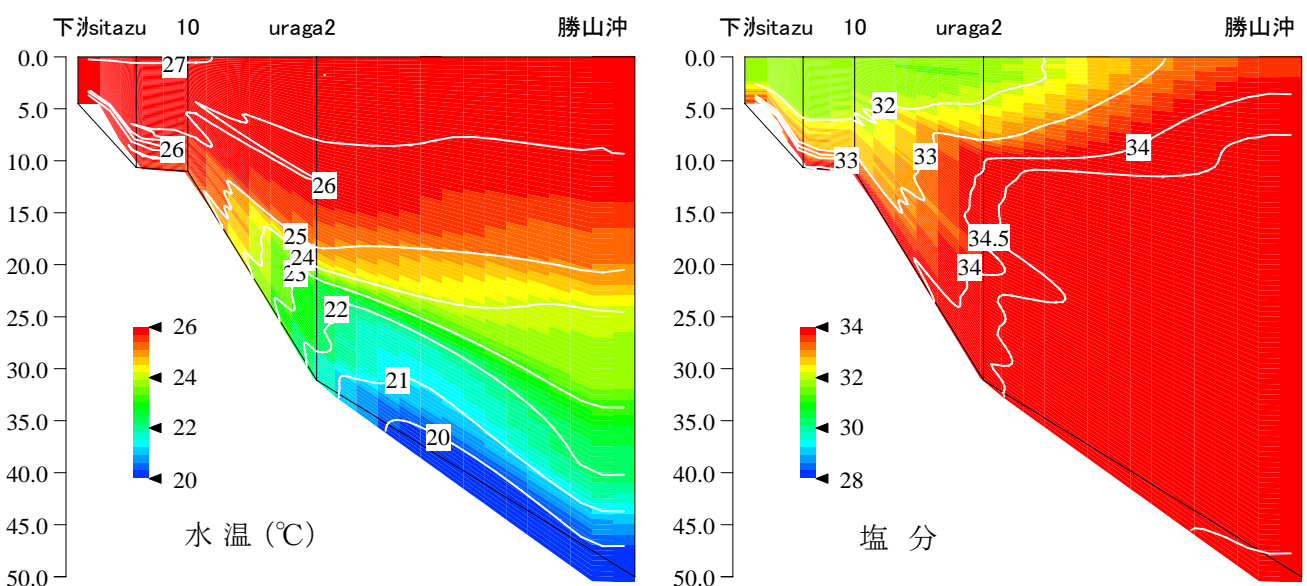


図4 縦断面の水温、塩分の鉛直分布 (内房北部海域：平成22年 9月21日)

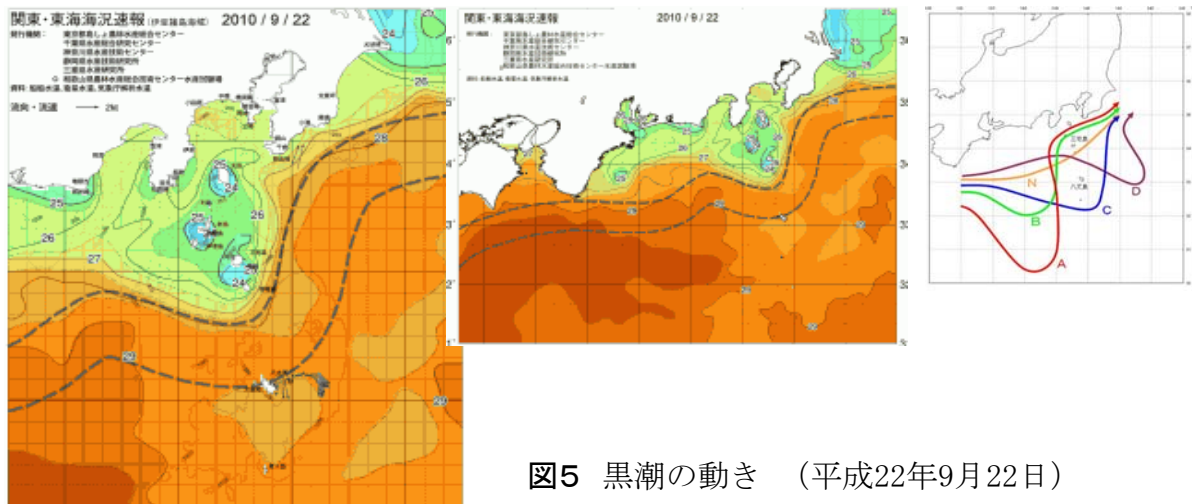


図5 黒潮の動き (平成22年9月22日)

表1. のり漁場環境調査結果 (表層)

上段 調査年月日 9/22 : 内湾, 9/21 : 内房北部
 () : 前回の調査結果 9/6 : 東京湾全域

調査点名	水温 (°C)	塩分	現場比重	pH	透明度 (m)	水色	アンモニア態窒素 (μg/L)	溶存無機態窒素 (μg/L)	リン酸態リン (μg/L)	
内湾	船橋	27.8 (29.9)	26.79 (25.47)	16.31	8.6 (8.4)	1.3 (2.7)	紅褐 (100)	45 (154)	5 (20)	
	st. 15	26.8 (29.3)	26.66 (26.52)	16.51	8.6 (8.6)	1.2 (1.9)	紅褐 (18)	53 (112)	4 (6)	
	st. 3	27.0 (29.1)	23.88 (28.51)	14.38	8.7 (8.5)	1.2 (3.5)	紅褐 (17)	102 (25)	4 (3)	
	st. 6	26.4 (29.4)	24.72 (28.56)	15.19	8.6 (8.5)	1.5 (3.4)	紅褐 (48)	375 (66)	7 (3)	
	st. 9	26.4 (27.9)	29.46 (31.16)	18.73	8.4 (8.4)	3.0 (3.8)	黄緑 (15)	11 (30)	ND (5)	
	盤洲Cブイ	27.8 (30.2)	28.04 (28.54)	17.24	8.7 (8.6)	2.7 (2.2)	黄緑 (14)	8 (97)	1 (23)	
	盤洲Bブイ	27.7	27.84	17.11	8.6	2.5	黄緑	5	10	2
	st. 8 (盤洲Aブイ南)	27.0 (28.7)	29.05 (30.63)	18.24	8.5 (8.4)	2.5 (3.2)	黄緑 (8)	6 (10)	10 (7)	
	富津ベタ	26.6 (28.2)	30.77 (31.62)	19.67	8.3 (8.3)	2.5 (3.8)	黄褐 (15)	6 (20)	9 (5)	1 (5)
内房北部	2海ほ下	26.2 (27.8)	31.50 (31.22)	20.33	8.4 (8.5)	3.5 (3.5)	黄緑 (5)	6 (6)	14 (2)	5 (2)
	1海ほ下	26.7	31.21	19.97	8.4	3.8	黄緑	3	5	3
	下洲ベタ	27.1	31.60	20.12	8.4	4.0	黄緑	2	4	2
	st. 10 (下洲沖)	27.0 (27.7)	31.50 (31.48)	20.09	8.4 (8.4)	4.5 (4.0)	黄緑 (6)	5 (8)	8 (8)	2 (2)
	大貫ベタ	26.8	31.39	20.08	8.4	3.0	淡黄緑	2	3	2
	湊ベタ	27.0	32.26	20.67	8.3	5.5	黄緑	1	1	1
	st. 12 (湊沖)	26.5 (27.8)	32.08 (32.01)	20.67	8.3 (8.4)	5.0 (5.5)	黄緑 (20)	1 (22)	3 (22)	ND (3)
	浦賀水道航路 ②ブイ	27.0 (27.9)	31.50 (32.57)	20.08	8.4 (8.3)	4.6 (11.0)	黄緑 (6)	2 (7)	3 (7)	1 (5)

注) ・黄色で示したところは、溶存無機態窒素・リン酸態リンが少ない調査点です。